

令和2年度以降の英語教育改革（新英語カリキュラム）について

令和2年 月 日
大学教育委員会決定

目 的

1. 全学英語（主にGコード科目）を担当する教員の人的資源を有効に活用することで、英語を学ぶ意欲のある学生にはよりレベルの高い英語教育を提供し、学部英語の要求する水準に達していない学生には適切なレメディアル教育を行う。
2. 全学英語と学部英語（主に専門科目）が緊密に連携して、各主専攻プログラム等の人材育成方針に適う英語運用能力を育成する。

改革の骨子

1. 全学英語は、各主専攻プログラム等で定める英語の卒業要件単位数の内、2単位分までの科目について提供を行う。
2. 各主専攻プログラムで必要となる英語運用能力について再検討を行った上で、全学英語が提供する単位数を踏まえ、卒業要件における必要単位数等を定める。
3. 全学英語では、学部英語の要求する水準に達していない学生にはレメディアル教育で底上げを行い、意欲ある学生にはより高いレベルの英語科目の提供を行う。
4. 1年次の第1学期をギャップターム（自由度の高い期間）と位置づけ、第1学期には、レメディアル教育／海外語学研修／iStep（短期集中英語プログラム）等の科目（プログラム）を履修しやすい環境を整える。
5. 具体的な開設科目については、別紙のとおりとする。

実施年度

令和2年度から実施 人文学部，教育学部，法学部，経済科学部，医学部，歯学部
令和3年度から実施 理学部，工学部，農学部，創生学部